

2020年度公衆衛生学 各講義の学習目標（最終版）

公衆衛生学試験（1月上旬）のための学習ポイントです。講義内容をよく復習しておいてください。

月日	項目	課題
9月11日	公衆衛生学の基礎：総論 (公衆衛生学とはどんな学問か?)	公衆衛生学の位置づけ・意味を、WHOの視点、日本の法的根拠から説明できる。
		イギリスにおける結核死亡率の推移から学ぶ、公衆衛生の考え方を説明できる。
9月11日	公衆衛生学特論：医療経済	医療保険のかかえる問題点について、講義で取り上げたことをもとに説明できる。
		日本の医療保険について、概要を説明できる。
9月14日	公衆衛生学特論： 地域の病院から見る地域医療・公衆衛生の課題	地域の健康問題に医師として立ち向かう際に、取り組むべきステップについて説明できる。
		福島原発事故後の浜通り地区での健康問題について、講義で紹介された事例をもとに説明できる。
9月14日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (保健所の立場から)	感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）について、第12条医師の届け出義務・届け出基準について、説明することができる。
		地域保健を担う関係機関3つについて、その名称と業務内容について説明できる。
9月18日	生涯を通じた健康づくり： 成人期① (日本人の健康状態・難病)	性・主要死因別にみた年齢調整死亡率の近年における推移の特徴を説明できる。
		予防医学のもっとも基本的な原理原則を、具体的な事例で説明できる
9月18日	公衆衛生学特論： 原子力災害の公衆衛生	医学と情報の共通点について、講義で取り上げたことをもとに説明できる。
		リスク情報と意思決定について講義で取り上げたことをもとに説明できる。
9月25日	生涯を通じた健康づくり： 成人期④（メンタルヘルス）	精神保健福祉法について必須事項を説明できる。
		日本の自殺の現状とその対策について、講義で紹介された事例をもとに説明できる。
9月25日	公衆衛生学特論：がんの疫学	がん対策基本計画（2007）における全体目標と、目標達成のための対策内容について説明できる。
		がん予防のためのヘルスプロモーションについて、具体例を提示しつつ説明できる。
9月28日	生涯を通じた健康づくり： 周産期・乳幼児期	母子保健法に基づく健康診査・訪問指導について説明できる。
		日本の出生数と合計特殊出生率は減少が続いている。その原因と合計特殊出生率とは何か説明することができる。
9月28日	生涯を通じた健康づくり： 学童期・思春期・青年期	主な学校保健関係職員（常勤・非常勤職員）について説明できる。
		2009年に「学校保健法」が「学校保健安全法」に改正された背景について説明できる。
10月2日	生涯を通じた健康づくり：成人期② (生活習慣病のリスクと予防：総論)	疾病発生への寄与の視点から、生活習慣への働きかけの意義を説明できる。
		肥満・やせの健康リスク、及び、性・年齢階級別の状況を説明できる。
10月2日	公衆衛生学の基礎： 地域医療を担う医師として働く (病院医師として)	特定機能病院と地域医療支援病院について、それぞれの趣旨と要件を説明できる。
		チーム医療とは何か、説明できる。
10月5日	生涯を通じた健康づくり：成人期③ (生活習慣病のリスクと予防：各論)	日本人における心疾患の特徴（推移、危険因子）を詳細に説明できる。
		特定健康診査・特定保健指導について、その概略を説明できる。
10月5日	生涯を通じた健康づくり：高齢期① (高齢社会：総論)	高齢期における健康の指標について説明できる。
		日本における戦後の平均寿命の延伸の要因について具体的に説明できる。
10月5日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (国際保健の立場から)	世界の保健医療問題のパラダイムシフトについて説明できる。
		世界保健機関（WHO）が取り組む近年の重要課題について具体例をあげて説明できる。
10月5日	生涯を通じた健康づくり：高齢期② (老年症候群 老年病)	性・年齢階級別の死亡率の年次推移から、高齢者の健康度の推移について説明できる。
		フレイル、及び、サルコペニアについて概説できる。
10月12日	生涯を通じた健康づくり：高齢期③ (介護予防)	介護保険制度における医師の役割について説明できる。
		介護保険制度が「予防重視システム」に転換されるに至った経緯や意義について説明できる。
10月12日	生涯を通じた健康づくり：高齢期④ (高齢者保健対策)	ICFをICIDHからの転換の文脈で説明できる。
		地域包括ケアシステムについて、概要を説明できる。
10月19日	公衆衛生学特論： 受動喫煙の防止と新型タバコの危険性	改正健康増進法で示された施設分類と、各施設における喫煙制限について説明できる。
		受動喫煙と肺がんの関連を世界で初めて報告した研究の詳細について説明できる。
10月19日	公衆衛生学の基礎： 地域で公衆衛生医として働く (研究者の立場から)	地域で働く公衆衛生医の実例から、公衆衛生医の役割について説明できる。
		公衆衛生事業における評価の考え方と指標を説明できる。